

|         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| 氏名      | 山本 哲也                              |
| 授与した学位  | 博士                                 |
| 専攻分野の名称 | 医学                                 |
| 学位授与番号  | 博甲第 4248 号                         |
| 学位授与の日付 | 平成22年12月31日                        |
| 学位授与の要件 | 医歯学総合研究科病態制御科学専攻<br>(学位規則第4条第1項該当) |

|        |   |
|--------|---|
| 学位論文題目 | A prospective analysis of anti-desmoglein antibody profiles in patients with rheumatoid arthritis treated with thiol compounds<br>(チオール化合物治療中の関節リウマチ患者における抗デスモグレイン抗体プロフィールの前向き研究) |
|--------|---|

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 論文審査委員 | 教授 榎野 博史 教授 尾崎 敏文 准教授 西田 圭一郎 |
|--------|------------------------------|

#### 学位論文内容の要旨

薬物性天疱瘡は、D-ペニシラミン、プシラミンなどスルフヒドリル (SH) 基を有する薬剤で治療されている関節リウマチ (RA) 患者に発症しやすいことが知られている。今回、天疱瘡歴のない RA 治療中患者で、天疱瘡病因抗体である抗デスモグレイン (Dsg) 抗体プロフィールを前向き調査した。RA 患者の抗 Dsg 1、3 抗体価を同一母集団 1.6 年の間隔で測定した。1 回目は 204 例中 11 例が陽性、2 回目は 139 例中 6 例陽性であった。天疱瘡の発症はなく、新たに 1 例に抗 Dsg3 抗体陽性、4 例は抗体価が陰性化した。抗 Dsg 抗体のエピトープは、サル食道を用いた蛍光抗体間接法で抗上皮細胞間抗体陽性は 1 例、免疫ブロット法で 1 例が Dsg3 (130 kDa) に陽性。80% が EDTA 処理した ELISA 法で陽性であり、RA 患者に検出される抗 Dsg 抗体は、天疱瘡患者と異なり、EDTA 抵抗性エピトープを認識する非病因抗体と考えられた。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、天疱瘡歴のない関節リウマチ患者で、天疱瘡病因抗体である抗デスモグレイン (Dsg) 抗体プロフィールを前向き調査したものであるが、関節リウマチ患者に検出される抗 Dsg 抗体は、天疱瘡患者と異なり、EDTA 抵抗性エピトープを認識する非病因抗体と考えられた。本研究は薬剤性天疱瘡と天疱瘡の病因の違いの一端を明らかにしたもので重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。